

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)												
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期目標	金額 (千円)	職位					人数											
I-1-(1)-① 仕事と子育ての両立支援	1	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性活躍推進課	<p>誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。</p>	<p>子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合</p>	27.8% (H20年度)	目標	前年度 (28.2%) 比増加				平成20年度 (27.8%)の 水準より増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	27.4%	実績				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）	継続	11,314	10,519	減額	14,950	課長	0.30人	順調	<p>誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指すには、企業の意識改革（働き方の見直し）が重要であるため、事業費全体では減額となっているが、企業へのアドバイザー等派遣など、企業に対する支援について、より重点化した予算編成を行っている。</p>	順調	<p>誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指すには、企業の意識改革（働き方の見直し）が重要であるため、企業に対する支援をより重点的に取り組んでいく。</p>			
						41.0% (H25年度)	目標		単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし			平成25年度 (41.0%)の 水準より増加 (H31年度)	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	48.0%	実績																※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）
							達成率			—							職員	1.00人															

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度					H29年度	中期 目標	金額 (千円)					職位	人数	
II-3-(2)-① 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	2	「女性活躍推進アクションプラン」実施及び市職員次世代育成支援事業	女性活躍推進課	性別にかかわらず職員が能力を發揮し、いきいきと活躍できる職場づくりを実現するため、「女性活躍推進アクションプラン第2期計画」（計画期間：H26～30年度）に基づき、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組みを実施する。	女性役職者（係長級以上）比率	15.6% (H25年度)	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	20% (H30年度)	継続	3,709	3,709	維持	9,900	課長	0.10 人	順調	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。	0.50 人	0.50 人
						実績	16.2 %	16.9 %											達成率				
	3	ダイバーシティ推進事業	女性活躍推進課	国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行など、多様な人材を活かすダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランス（働き方改革）を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善など、多様な働き方の実現により、簡素で効率的な組織・人員体制をもつて、更なる市民サービスの向上を図る。	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合	—	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	90% (H31年度)	継続	3,500	3,300	減額	11,050	課長	0.20 人	順調	多様化する住民ニーズや行政課題に迅速・的確に対応できる組織を構築するため、多様な属性（性別、年齢、生活背景など）の職員が、柔軟な働き方ができる職場環境整備を目指す。	0.50 人	0.50 人
						実績		88.0 %											達成率				
	4	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女共同参画推進課	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス（もじ・やはた）において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就業・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進する。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (H23年度)	目標	—	—	—	—	80% (H30年度)	継続	329,338	329,051	維持	8,950	課長	0.30 人	順調	事業計画に基づき男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談などの事業を実施する。講座等の実施に当たっては、より多くの参加に結びつくよう、内容等の見直しや、広報・周知方法の工夫を行う。	0.40 人	0.20 人
						実績	—	—	—	—	達成率								—				
	5	地域における男女共同参画推進啓発事業【男女共同参画広報・啓発事業】	男女共同参画推進課	地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等が企画・実施する広報啓発活動を支援し、男女共同参画に関する理解を深める。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (H23年度)	目標	—	—	—	—	80% (H30年度)	継続	4,133	3,710	減額	5,050	課長	0.20 人	順調	若年層や男性の参加者数が増加するよう、講座や講演、イベントの開催内容や時期、PR手法等を見直し、改善に向けた取組みを引き続き行う。	0.20 人	0.10 人
						実績	—	—	—	—	達成率								—				

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
II-3-(2)-② ワーク・ライフ・ バランス（仕事と 生活の調和）の推 進	6	ワーク・ライ フ・バランス推 進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働き方や 生き方を選択でき、活 力ある豊かな社会を 実現するため、「北九州 市女性活躍・ワークラ イフバランス推進協 議会」を中心に、企業 等の取組み支援など を行うとともに、企業 や地域での様々な活 動と連携しながら仕 事と生活の調和（ワ ーク・ライフ・バラ ンス）の推進を図る。	子育て中の労働者で 仕事と生活の両立が 図られていると感じ る人の割合	27.8% (H20年度)	目標 前年度 (28.2%) 比増加				平成20年度 (27.8%)の 水準より増加	継続	11,314	10,519	減額	14,950	課長	0.30	順調	誰もが多様な働き方 や生き方を選択でき、 活力ある豊かな社会 の実現を目指すには、 企業の意識改革（働 き方の見直し）が重 要であるため、事業 費全体では減額とな っているが、企業へ のアドバイザー等派 遣など、企業に対し ての支援について、 より重点化した予 算編成を行っている。	
					※「現状値」及び 「中期目標」は、「元 気発進！子どもプラン (H22～H26年度)」 掲載内容	※上記は、「元気発 進！子どもプラン」 のニース調査によ る数値	27.4%				※上記は、「元気発 進！子どもプラン」 での成果指標（目 標）						係長	0.40			
					子育て中の労働者で 仕事と生活の両立が 図られていると感じ る人の割合	41.0% (H25年度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	平成25年度 (41.0%)の 水準より増加 (H31年度)							職員	1.00			
					※「現状値」及び 「中期目標」は、「元 気発進！子どもプラン (第2次計画)(H27 ～H31年度)」掲載 内容	※上記は、「元気発 進！子どもプラン (第2次計画)」の ニース調査による 数値	48.0%				※上記は、「元気発 進！子どもプラン (第2次計画)」で の成果指標（目 標）										
	7	「女性活躍推進 アクションプラン」 実施及び市職 員次世代育成 支援事業	女性 活躍 推進 課	職員のワーク・ライ フ・バランスを更に 推進するため、「第三 期特定事業主行動計 画」(H27年度より 実施予定)に基づ き、各種研修や啓 発活動等による職 員の意識改革、仕 事の見直し・改善、 仕事と子育ての両 立支援等に取り組 む。	ワーク・ライフ・バ ランスが取れている と感じる職員の割 合	69.4% (H20年 度)	目標 単年度目標 設定なし					継続	3,709	3,709	維持	11,050	課長	0.20	順調	引き続き、制度の 周知・活用を通じて、 職員のキャリア形成 支援やワーク・ライ フ・バランスの一層 の推進を図っていく。	順調
					※本指標は「北九州 市職員の次世代育成 プログラム(H22～ H26年度)」掲載 内容																
					ワーク・ライフ・バ ランスが取れている と感じる職員の割 合	71.6% (H25年 度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	85% (H30年 度)							係長	0.50			
					※本指標は「女性活 躍アクションプラン 第2期計画(H26～ H30年度)」掲載 内容																
					両立しながら新たな 業務等にチャレンジ したいと思う職員 の割合	69.9% (H26年 度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	75% (H31年 度)											
					※本指標は「北九州 市職員ダイバーシ ティ推進プログラム (H27～H31年度)」 掲載内容																
8	ダイバーシ ティ 推進 事業	女性 活躍 推進 課	国における「まち・ひ と・しごと創生総合 戦略」の策定や「女 性の職業生活にお ける活躍の推進に 関する法律」施行 など、多様な人材 を活かすダイバー シティマネジメント やワーク・ライフ・ バランス（働き方 改革）を推進する ための取組の加速 などの動きを踏ま え、テレワークの 実施や職場単位の 業務改善など、多 様な働き方の実現 により、簡素で効 率的な組織・人員 体制をもって、更 なる市民サービスの 向上を図る。	部課長級の多面 評価「イクボス10 か条を実践できて いる管理職の割 合	—	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし		90% (H31年 度)	継続	3,500	3,300	減額	11,050	課長	0.20	順調	多様化する住民 ニーズや行政課 題に迅速・的確に 対応できる組織を 構築するため、多 様な属性（性別、 年齢、生活背景 など）の職員が、 柔軟な働き方が できる職場環境 整備を目指す。		
				男性職員の育児 休業等取得率	2.5% (H20年 度)	目標 10.0%	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	20% (H31年 度)						職員	0.50				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期目標	金額 (千円)	職位					人数	
II-3-(2)-③ 性別による人権侵害行為の根絶	9	男女共同参画基本計画推進事業【配偶者等からの暴力対策事業】	男女共同参画推進課	配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力は、重大な人権侵害であることを誰もが認識し、暴力を容認しない意識の醸成のための広報・啓発を行う。	配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合	55.2% (H23年度)	—	—	—	—	70.0% (H30年度)	継続	7,412	7,673	維持	5,050	課長 0.20人	係長 0.20人	職員 0.10人	順調	DV相談を呼びかけるリーフレットなどの公共施設等への配布を継続するとともに、効果的なPRの実施に努める。 専門的な知見を持つNPO等と連携して高校・大学等でデートDV予防教室を引き続き行う。 警察など関係機関との連絡会議の開催などによる情報の共有や交換を行う。	順調	配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力は重大な人権侵害であることを誰もが認識し、暴力を容認しない意識の醸成のため、DV相談を呼びかけるリーフレットの配布、専門的な知見を持つNPO等との連携による高校・大学等でのデートDV予防教室を継続して実施する。 また、今後も、警察などの関係機関と情報共有・交換を実施していく。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期目標	金額 (千円)	職位					人数	
II-3-(2)-④ 女性の活躍推進	10	「女性活躍推進アクションプラン」実施及び市職員次世代育成支援事業	女性活躍推進課	性別にかかわらず職員が能力を発揮し、いきいきと活躍できる職場づくりを実現するため、「女性活躍推進アクションプラン第2期計画」（計画期間：H26～30年度）に基づき、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組みを実施する。	女性役職者（係長級以上）比率	15.6% (H25年度)	目標 単年度目標設定なし 実績 16.2 % 達成率 — %	単年度目標なし 16.9 % — %	単年度目標なし	単年度目標なし	20% (H30年度)	継続	3,709	3,709	維持	6,400	課長	0.10 人	順調	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。	局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
	女性管理職（課長級以上）比率	12.0% (H25年度)	目標 単年度目標設定なし 実績 12.8 % 達成率 — %	単年度目標なし 13.8 % — %	単年度目標なし	単年度目標なし	15% (H30年度)	係長	0.30 人	職員	0.30 人												
	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合	—	目標 単年度目標なし 実績 88.0 % 達成率 — %	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	90% (H31年度)	課長	0.20 人	係長	0.50 人	職員	0.50 人										
	ダイバーシティ推進事業	女性活躍推進課	国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行など、多様な人材を活かすダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランス（働き方改革）を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善など、多様な働き方の実現により、簡素で効率的な組織・人員体制をもって、更なる市民サービスの向上を図る。	男性職員の育児休業等取得率	2.5% (H20年度)	目標 単年度目標なし 実績 8.8 % 達成率 — %	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	20% (H31年度)	継続	3,500	3,300	減額	11,050	課長	0.20 人	順調	多様化する住民ニーズや行政課題に迅速・的確に対応できる組織を構築するため、多様な属性（性別、年齢、生活背景など）の職員が、柔軟な働き方ができる職場環境整備を目指す。	局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	目標 単年度目標なし 実績 — 達成率 — %	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	70% (H31年度)	課長	0.50 人	係長	0.60 人						職員	0.60 人						
女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	同事業では、女性が希望に応じ、職場や家庭、地域においても、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、女性活躍の企業への働きかけや管理職研修・ネットワークの形成、創業支援などを行う。	ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）	597社 (H26年度)	目標 単年度目標なし 実績 697 社 達成率 — %	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	800社 (H31年度)	継続	0	17,000	増額	16,250	課長	0.50 人	順調					引き続き、女性活躍に取組む企業への支援や、女性管理職のスキルアップや企業横断的なネットワーク化に取組むほか、女性が創業しやすい環境づくりに取組む。	局施策評価
ウーマンワークカフェ北九州の早期設置	—	目標 単年度目標なし 実績 H28年5月開設 達成率 — %	早期設置	—	—	H28年度中に開設	課長	0.50 人															
ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	同事業では、女性の就業・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」の開設・運営などを行う。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	目標 単年度目標なし 実績 — 達成率 — %	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	70% (H31年度)	継続	46,300	30,000	減額	16,250	課長	0.50 人		順調	引き続き、女性の職業生活の拠点となるよう「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、就業支援等の充実を図る。	局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標 単年度目標なし 実績 オープン前 達成率 — %	—	2,500 人	3,300 人	4,000人 (H31年度)	係長	0.60 人	職員						0.60 人								
<新> 女性創業応援団事業	女性活躍推進課	女性創業者を応援する団体を民間企業等が中心となって結成することに伴い、市が団体運営費等の一部を支援するもの。	「（仮称）北九州女性創業応援団」の創設	—	目標 単年度目標なし 実績 — 達成率 — %	—	—	—	—	「（仮称）北九州女性創業応援団」の創設	—	—	15,000	—	15,750	課長	0.50 人					—	平成27年度に実施した「北九州市女性創業支援のあり方検討会」では、女性創業者を輩出しやすい環境づくりのため、企業等による女性創業の応援団を設立し、市全体で女性の創業を支える仕組みづくりを行うことが報告された。については、女性創業者を応援する団体を民間企業等が中心となって結成することに伴い、市が団体運営費等の一部を支援するもの。
係長	1.00 人	職員	0.00 人																				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期目標	金額 (千円)	職位					人数
II-3-(4)-① 平和の尊さへの理解の促進	15	<新> (仮称) 平和資料館建設事業	総務課	戦後71年が経過し、悲惨な戦争の記憶の風化が懸念され、戦争の記憶を後世に伝えることが重要となっている。改めて、戦争の悲惨さを市民に伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとするため、新たに「(仮称) 平和資料館」の建設に向けた取組みを行う。	(仮称) 平和資料館の建設	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	25,250	課長	1.00	人	—	戦争の悲惨さや平和の大切さを市民に伝えるため、「戦時下の市民の暮らし」をコンセプトに、市民から寄贈された資料等を平成16年から市立埋蔵文化財センター内の「戦時資料展示コーナー」で展示している。戦争の記憶の風化が懸念されるなか、記憶の継承がこれまで以上に重要となっており、これまでの展示資料に加え、八幡大空襲を始め本市の空襲に関する資料等、展示内容の充実を図るため、新たな施設の建設に向けた取組みを行う。	順調	戦後71年が経過し、戦争を知らない世代がほとんどとなる中、悲惨な戦争の記憶が風化されることへの懸念があり、本市で起きた戦争の惨禍や平和の大切さを伝える必要があることから、新たに「(仮称) 平和資料館」の建設に向けた取組みを行う。また、引き続き「嘉代子桜・親子桜」の植樹、長崎市が主催する「ピースフォーラム」への小中高生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣」の実施等に取り組む。
	16	非核・平和推進事業	総務課	本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いを市民に伝えるため、また、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく次の世代に伝えるため、事業を実施するもの。	市民が平和の尊さを理解し、共有していくこと	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	6,400	課長	0.10	人	順調	引き続き、平和の願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」の市立特別支援学校等への植樹、長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣」の実施等に取り組む。		
III-1-(3)-④ 高度情報社会への対応	17	社会保障・税番号制度対応事業 (情報政策課所管分)	情報政策課	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」という。）」の成立により、個人番号や法人番号の利用が平成28年1月から開始された。地方自治体ではこの番号法に基づき、住民に対する個人番号の付番及び通知や、個人番号や法人番号の利用、個人番号による他行政機関との情報連携（平成29年7月開始）などを行わなければならないため、関係する業務及び情報システムの対応を行う。	個人番号を用いた他機関との情報連携	情報システムの円滑な導入 (平成26年度)	目標	庁内連携テストに向けてシステム改修の完了	総合運用テストの実施	システムの安定運用	—	—	—	—	28,450	課長	0.30	人	順調	平成29年度7月の情報連携開始に向けて、着実にテストを実施していく。また、情報連携の開始後は引き続き情報システムの安定運用に努めていく。	順調	平成29年7月の社会保障・税番号制度における他行政機関との情報連携開始に向け、着実にテストを実施し、システムの安定運用に努めている。また、GIS搭載情報については、庁内向けGIS、地域情報ポータルサイトとともに主題図数を伸ばしていることから、データ更新や災害時対応業務等を行うGISセンターの体制を見直す必要がある。
	18	全庁GIS（統合型GIS）構築運用事業	情報政策課	庁内の各所管課が個別に導入しているGIS（地理空間情報システム）を集約することで、庁内全体のGIS運用経費を削減するとともに、庁内で情報を共有することにより、業務の効率化・高度化を図る。また、共有したGIS情報のうち、公開可能なものは積極的に市民に公開することにより、市民サービスの向上を図る。	全庁GISの安定運用	安定稼働 (平成26年度)	目標	安定運用	安定運用	安定運用	安定運用	—	—	—	—	16,050	課長	0.20	人	順調	庁内向けGIS、地域情報ポータルサイトとともに主題図数を伸ばしていることから、データ更新や災害時対応業務等を行うGISセンターの体制を見直す必要がある。	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期目標	金額 (千円)	職位					人数		
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	19	北九州市自治基本条例推進事業	総務課	本市の自治の基本的ルールを定めた「北九州市自治基本条例」(平成22年10月1日施行)の意義や理念などを多くの市民に理解してもらうため、周知等を行う。また、情報共有や住民参画の視点から業務を行い、条例の目指すまちづくりができるよう、職員向けの研修を行う。	市民が主役の自治(市民自治)の確立	目標	—	—	—	—	市民自治の確立	継続	2,374	1,694	減額	4,650	課長 0.10人	係長 0.20人	職員 0.20人	順調	引き続き、市民向けの周知活動や職員に対する研修等を実施する。また、条例の認知度が低い若い世代への周知を図るため、大学等への出前講演などに取組む。	順調	市民が主役の自治(市民自治)の確立に向け、自治基本条例に対する理解を深め、市民の市政への参画を推進していくため、今後も条例の周知活動を継続実施していく。	
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の地域活動への参画促進	20	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性活躍推進課	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を図る。	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合	目標	27.8% (H20年度)	前年度(28.2%)比増加			平成20年度(27.8%)の水準より増加	継続	11,314	10,519	減額	14,950	課長 0.30人	係長 0.40人	職員 1.00人	順調	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指すには、企業の意識改革(働き方の見直し)が重要であるため、事業費全体では減額となっているが、企業へのアドバイザー等派遣など、企業に対する支援について、より重点化した予算編成を行っている。	順調	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指すには、企業の意識改革が重要であることから、企業に対する「働き方の見直し」への支援(企業へのアドバイザー派遣やイクボスセミナーの開催など)を継続して推進していく。	
				※「現状値」及び「中期目標」は、「元気発進!子どもプラン(H22~H26年度)」掲載内容		実績	27.4%				※上記は、「元気発進!子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値													
				子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合		目標	41.0% (H25年度)	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	平成25年度(41.0%)の水準より増加(H31年度)													
				※「現状値」及び「中期目標」は、「元気発進!子どもプラン(第2次計画)(H27~H31年度)」掲載内容		実績	48.0%				※上記は、「元気発進!子どもプラン(第2次計画)」での成果指標(目標)													
						達成率	97.1%																	
						目標																		
						実績		48.0%																
						達成率			—															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産業都市づくりの推進	21	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女共同参画推進課	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス（もじ・やはた）において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就業・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進する。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (H23年度)	—	—	—	—	80% (H30年度)	継続	329,338	329,051	維持	8,950	課長	0.30	順調	事業計画に基づき男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談などの事業を実施する。講座等の実施に当っては、より多くの参加に結びつくよう、内容等の見直しや、広報・周知方法の工夫を行う。				
	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	38.7% (H23年度)	—	—	—	—	平成23年度(38.7%)の水準より減少	平成23年度(38.7%)の水準より減少(H29年度)	係長	0.40	職員						0.20							
	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—												
	実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—												
22	女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	同事業では、女性が希望に応じ、職場や家庭、地域においても、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、女性活躍の企業への働きかけや管理職研修・ネットワークの形成、創業支援などを行う。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	—	—	—	—	—	70% (H31年度)	継続	0	17,000	増額	16,250	課長	0.50	順調	引き続き、女性活躍に取り組む企業への支援や、女性管理職のスキルアップや企業横断的なネットワーク化に取り組むほか、女性が創業しやすい環境づくりに取り組む。				
				ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）	597社 (H26年度)	—	—	—	—	—	—						—	—			—	—	—	—
				目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—	—
				実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	
23	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	同事業では、女性の就業・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」の開設・運営などを行う。	ウーマンワークカフェ北九州の早期設置	—	—	—	—	—	—	H28年度中に開設	継続	46,300	30,000	減額	16,250	課長	0.50	順調	引き続き、女性の職業生活の拠点となるよう「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、就業支援等の充実を図る。				
				女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	—	—	—	—	—	—						—	—			—	—	—	—
				目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—	—
				実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	
24	<新>女性創業応援団事業	女性活躍推進課	女性創業者を応援する団体を民間企業等が中心となって結成することに伴い、市が団体運営費等の一部を支援するもの。	「（仮称）北九州女性創業応援団」の創設	—	—	—	—	—	—	「（仮称）北九州女性創業応援団」の創設	—	—	15,000	—	15,750	課長	0.50	—	平成27年度に実施した「北九州市女性創業支援のあり方検討会」では、女性創業者を輩出し易い環境づくりのため、企業等による女性創業の応援団を設立し、市全体で女性の創業を支える仕組みづくりを行うことが報告された。については、女性創業者を応援する団体を民間企業等が中心となって結成することに伴い、市が団体運営費等の一部を支援するもの。				
				目標	—	—	—	—	—	—	—						—	—			—	—	—	—
				実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—	—
				達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	
VII-1-(3)-③ 社会制度や社会問題などに関する国際協力の推進	25	(公財)アジア女性交流・研究フォーラム事業	男女共同参画推進課	「国際的な最新情報の収集・発信」「成果の地域還元」「フェイスtoフェイスの国際交流」「あらゆる分野での女性のエンパワーメント」「次世代育成」「情報提供の充実」を目指し、様々な事業を実施する、(公財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動を支援する。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (H23年度)	—	—	—	—	80% (H30年度)	継続	65,974	55,000	減額	4,050	課長	0.20	順調	類似施設等との役割分担及び事業内容の見直しなどにより、効率的に男女共同社会の形成の推進に向けた取り組みを実施していく。 また、市民向けの研究報告会、セミナー等の開催を通じて、男女共同参画に関する意識の醸成を図っていく。				
					目標	—	—	—	—	—	—						—	—			—	—	—	—
					実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—	—
					達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—